



国道254号和光富士見バイパス第二期整備区間の本格的工事がスタート



下南畑交差点付近の工事現場の様子

一般国道254号和光・富士見バイパスの第二期整備区間（富士見市下南畑交差点から朝霞市内間木交差点まで・4,290メートル中、志木市分は2,570メートル）が本格着手され、浦所バイパスと交差する下南畑交差点の立体交差工事がスタートいたしました。

埼玉県は、志木市区間の詳細設計を進めるにあたり、市民の意見を反映させるために平成29年3月「国道254号バイパス道路詳細設計検討会」を設置しております。

すでに二回の検討会が開催され、三回目の検討会を経て市民への説明会を開催する予定です。

詳細については「朝霞県土整備事務所」のホームページに掲載されておりますのでご覧ください。

田子山富士塚の改修工事が完了



敷島神社内にある「田子山富士塚」は、登山道や山中の石造物が倒壊・落下していたため、永年立入禁止になっていましたが、埼玉県・志木市からの補助金と多くの皆様の寄付金などによって修復工事が進み、平成28年7月2日の山開きから一般公開されるようになり、昨年1年間で合計7,293人が登拝されました。

田子山富士の玉垣内にある「金比羅神社」の屋根部分の修理が平成29年6月に終わり、改修工事が完了したので、今年の7月1日の山開きでは「田子山富士平成大修築記念碑」の除幕式が行われました。

田子山富士塚は、大安・友引の日の10時から15時まで入山出来ますので、是非多くの皆さんに埼玉県の指定有形民俗文化財でもある、志木のお富士さん事「田子山富士塚」に登っていただきたいと思ひます。

渋滞原因の本町3丁目交差点の信号機能を改良



歩行者用信号が先に赤になり左折車両が流れやすい仕組みに変更

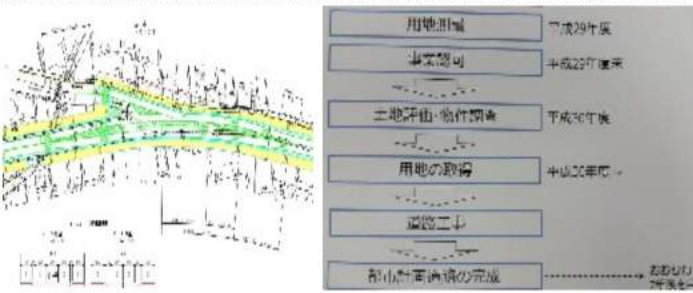
中央通停車場線（本町通）と昭和大道が交差する本町3丁目の交差点では、通学時間に多くの生徒が横断歩道を渡るため、市場坂上方面から志木駅東口方面に向かう車がなかなか左折が出来ず、渋滞の原因となっておりました。

そこで数年に渡り、地元市議会議員さんからも要望もあり、スクランブル交差点又は歩車分離式信号機にして欲しいという要望をしておりました。

警察側は信号が3段階になるとかえって渋滞が慢性化すると判断から対策に苦慮しておりましたが、この度、特に通学時には歩行者用信号が赤になってから長い時間差で車両用信号機を赤にし、左折車両が少しでも円滑に流れるよう改良されました。

具体的に7時から8時半の通学時間では、交通量に合わせて歩行者用信号が赤になってから、6～13秒（従来より5秒増）、その他の時間は8秒経過してから車両用信号が赤になるとの事です。

中央通停車場線3工区も住民説明会がスタート



志木駅東口交差点から市場坂上までの中央通停車場線（本町通り）区間で、歩道の拡幅と電線の地中化が行われていない残りの区間、3工区（本町五丁目ユリノ木通りの交差点から本町三丁目の交差点手前、市道1193号線まで全長310メートル）の住民説明会がスタートいたしました。

今年度は事業認可を取り、来年度には土地評価・物件調査を行い、用地の取得、そして道路工事に入っていく予定です。

議会改革の先進地・鳥取県議会を視察



領収書のネット公開もしている鳥取県議会

こうした行為を今後防ぐために、議会改革の先進地などで行われている活動に、領収書のネット公開も行うことになりました。鳥取県議会の領収書は、すべてネット公開されています。

ただ、県議会の膨大な事務作業をこなすには、議会の事務局の皆さんが協力しなければなりません。鳥取県議会の先進地、鳥取県議会に会派の仲間と視察に行き、領収書のネット公開についてお話を伺いました。

さて、政治全般ですが、森友、加計と続いた学園問題や防衛大臣の南スーダン日報非公刊指示疑惑などで、安倍総理の支持率が下がっております。

我が国周辺をめぐる緊迫した国際情勢などを考えれば、半年以上もこんな学園問題の追及ばかりに国会の議論が費やされる事に、違和感を覚えますね。

都合の良い情報が出さなかったり、報道しない自由行使し過ぎるのには、やむを得ないと思ひます。安全保障だけでなく、景気だって、民主党政権時代よりは、株価も上がり雇用状況も良くなっています。

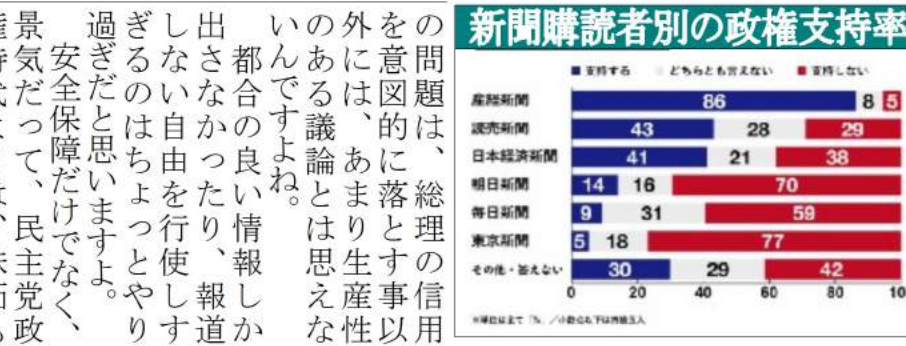
これまで何度も複数回の会派と共に、「議会改革特別委員会」の設置を提案しました。また、新しい任期に入ってから二回議員の交通費などにあたる「費用弁償」の支給を、現状の1日6千円、1万2千円の定額支給から、実際に交通費としてかかった分（志木から浦和まで車なら数リットル程度）の実費支給に変更する条例改正案を提案しましたが、このときよく否決。

議員団に所属していた議員による一千万円を超える領収書偽造による政務活動費の不正受給が発覚。それも県民への説明や謝罪が全く無く、他や派など議会への報告も無しに辞職して行方不明となりました。県民の血税を不正受給しておいて、この対応は全くいただけません。これで幕引き出来る問題なのでしょうか。この教訓を生かさないのでしょうか。

議員別帳簿や領収書のネット公開を進め、不正が行われにくい状況を図るべきだと考えております。県民に対する信頼回復のためにも、都議選でも争点となったように、情報公開が必要だと思ひますね。

モリ・カケ問題を引っぱり過ぎ。さて、政治全般ですが、森友、加計と続いた学園問題や防衛大臣の南スーダン日報非公刊指示疑惑などで、安倍総理の支持率が下がっております。

我が国周辺をめぐる緊迫した国際情勢などを考えれば、半年以上もこんな学園問題の追及ばかりに国会の議論が費やされる事に、違和感を覚えますね。



議会改革の先進地・鳥取県議会を視察

議会改革の先進地・鳥取県議会を視察